

【別紙2】

大阪市立東陽中学校令和元年度校長経営戦略支援予算【基本配付】実施報告書 (補足説明資料)

- (1) 【施策1、安全で安心できる学校、教育環境の実現】好ましい人間関係や信頼関係を確立する集団を育成するためにHyper-QUアンケートを年2回実施した。その結果を各クラスで分析シートにまとめ職員間で共有し、いじめの早期発見・対応することができた。いじめの認知件数は、11件で、解消率95%以上という数値目標は達成できていないが、未解消は最小の1件ということで達成状況はBとした。
- (2) 【施策6、国際社会において生き抜く力の育成】英語の授業等で「グローバル教室」のICTを活用して、英語によるコミュニケーション能力、異なる文化や考え方を理解し多面的に深く理解する力の育成に取り組み、英検を受検（2級から5級まで103名）した。その結果、IBAの結果は英検3級レベル以上の割合が58.3%と大阪市平均の54.0%を上回ったので達成状況はAとした。
- (3) 【施策5、子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】
学びサポーターを配置し、子ども一人一人の状況に応じた学力向上に取り組んだ。
平成30年度および令和元年度のチャレンジテストにおける標準化得点を同一母集団で比較した結果、以下の通り3年生は0.5点、2年生も4.0点増加して、どちらの学年も目標を達成することができた。
平成30年度 2年生 94.5点 ⇒ 令和元年度 3年生 95.0点(5教科)
平成30年度 1年生 100.4点 ⇒ 令和元年度 2年生 104.4点(3教科)
平成30年度および令和元年度のチャレンジテストにおける得点が、府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較した結果、3年生は4.1ポイント減少し、目標を達成し、2年生も7.5ポイント減少し、目標を達成することができた。
平成30年度 2年生 32.1% ⇒ 令和元年度 3年生 28.0%
平成30年度 1年生 22.4% ⇒ 令和元年度 2年生 14.9%
平成30年度および令和元年度のチャレンジテストにおける得点が、府平均の2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較した結果、3年生はり0.2ポイント減少し、目標を達成することはできなかったが、2年生は1.3ポイント増加し、目標を達成することはできた。
平成30年度 2年生 30.2% ⇒ 令和元年度 3年生 30.0%
平成30年度 1年生 30.6% ⇒ 令和元年度 2年生 31.9%
生徒アンケート「授業で、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」項目の肯定的意見は63%であった。前年度の62%を1%上回り、目標を達成することができた。
以上の結果から達成状況はAとした。

(4) 【施策1、安全で安心できる学校、教育環境の実現】好ましい人間関係や信頼関係を確立する集団を育成するために、研修を行った。70周年記念式典の記念セレモニーに、演劇指導の講師を呼んで、指導をしていただき、周年行事を成功させることができた。人権講演会を通じて、人権意識を高めることができた。今年度新たに不登校になった生徒はおらず、前年度と変わらず目標を達成することができた。以上の内容から達成状況はAとした。

総論

- ① 年度目標の達成状況は、IBAの結果は英検3級レベル以上の割合が58.3%と大阪市平均の54.0%を上回った。生徒アンケート「授業がよくわかる」項目の肯定的意見は75%で、年度目標(80%以上)を達成することができなかった。「学校のきまりを守っている」項目の肯定的意見は89%であった。年度目標(90%以上)をわずかに達成することはできなかったが、前年度の90%から継続して高い水準を維持している。達成状況は以上の結果よりBとした。
- ② 学校協議会における意見
生徒・保護者アンケートの結果においては、学校が楽しいと感じる生徒は増えており、授業力向上の取組みを引き続き継続してほしい。提出物や忘れ物に課題がある。学習課題の精選も考えていただきたい。